

## 3月15日(火) 島根県高等学校理数科課題研究発表大会

3月15日(火)、大田高校岩谷会館にて、島根県理数科課題研究発表大会が開催されました。松江北高校、松江南高校、出雲高校、大田高校、浜田高校、益田高校の2年理数科の生徒が課題研究の発表を行いました。

各校の校内発表会において、優秀な研究発表に選ばれた2チームずつの合計12チームによる発表会です。

発表の方法は口頭発表で行いました。発表時間は8分です。まず研究全体の要旨を1～2分間英語で発表します。発表後は質問に答えます。各学校の生徒から積極的な質問がありました。

研究テーマは地域の題材から発想を得たものや身近な現象に問題意識をもったものが多く、どのチームもよく考えられた研究の発表でした。特に今年は研究の題材が授業で得た知識や身近な現象から疑問をもったことに対して取り組んだ研究テーマが多かったのが特徴的でした。

益田高校からは、「ドンコの色素胞の反応性」と「粘菌がエサを感知する能力を探る」という2つの研究班が発表しました。このうち、優秀賞に選ばれた「ドンコの色素胞の反応性」のチームが7月28日(木)～29日(金) 徳島県で開催される中国・四国・九州理数科課題研究発表大会の出場権を得ました。



粘菌チームの発表



ドンコチームの発表



ドンコチームが優秀賞  
を頂きました。



緊張からの解放と達成感の  
記念撮影です。



終業式で、校長先生から表彰  
していただきました。